

# 反戦貫き 四半世紀

## 日本基督教団の岩井牧師 関東へ

# 「非核神戸」の伝道師 重い足跡

「神戸は、近代日本の光と闇を共に宿す街。その明暗は鮮やかで、重く、けれど引き付けられた」。日本基督教団神戸教会(神戸市中央区)の牧師として、およそ四半世紀にわたって市民活動にかかわってきた岩井健作(さん)さんが三月末、関東の教会へ移る。反戦を貫き、「非核神戸方式」を守れ、と呼びかけを重ねた。二十一日、同教会で開かれる「アフガニスタン難民支援コンサート」で、平和への思いを込めた最後のメッセージを語る。

(新聞真理)

神戸は四力所目の任地 労働者の夜間学校を運営 戸教会を拠点に、世の  
だった。一九七八年に着 するなど、戦前から社会 中とのつながりを模索し  
任。児童養護施設や工場 活動を展開してきた神 だ。

# 「統合教育」にも尽力



愛憎と、もどかしく、神戸への思いを語る岩井さん(神戸市中央区花畑町)

## 21日に最後のメッセージ

思い出深いのは、教会 笑うの大好き みんな大  
併設の幼稚園長として過 好きにこつこつとこを  
ごした日々だ。当時、受 後から知った。うれしか  
け入れ先の少なかった驚 った。  
害のある子どもたちを 九九年、周辺事態法の  
「統合教育」として種 成立を前に、反対運動の  
的に受け入れた。自然体 先頭に立った。パレスチ  
で接する子どもたちや同 人への牧師に教会で話し  
僚を見て思った。「考え てもうったこともある。  
るのは、困難に出合っ 神戸に来る前、広島、呉、  
からでいい」 若園と、米軍基地や自衛  
卒園児が園での日々 隊にゆかりの深い街で働  
を、「あそぶの大好き いていたことが、背景に  
あった。

クスリはやっぱり  
シニヤクド

一平和を奏で、語り・  
歌おう！ アフガニスタ

ン難民支援チャリティイ  
ジョイントコンサート」  
は二十一日午後二時から  
同教会で、阪神・淡路大  
震災の被害を乗り越えて  
て設置されたパイアオル  
ガンの演奏やゴスペル  
のほか、岩井さんが平和  
へのメッセージを発表す  
る。  
前売り千円、当日千二  
百円。乳幼児保育、車い  
す席あり(要予約)。同  
教会会O.T.S・3・11・  
2022.3